

# 哲學研究

第九卷第十冊

第三百三號

大正三十一年十月一日發行

山鹿素行に於ける士道論的思想の發達……………

文學士 加藤 仁平

武士道の起源及び特質(三)……………文學士 高橋 俊乘

自由の可能に就て(承前)……………文學士 世良 壽男

内部知覺について……………文學博士 西田 幾多郎

フロイトストラトスの「構想力」……………文學博士 深田 康算

京都帝國大學文學部

京都哲學會

## 京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達セシメ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究会ヲ開ク
  - 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
  - 一、毎月一回雜誌「哲學研究」ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名) 京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
  - 一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌、「哲學研究」ノ配付ヲ受ケ
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

## 京都哲學會役員

### 委員

文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士
伊藤	植田	狩野	小西	高坂	澤村	高瀬	田邊	千葉	朝永	西田	野上	波多	深田	藤井	松本	務臺	米田	文學博士	文學博士	文學博士
典	壽藏	直喜	重直	正顯	專太	武次	胤	十郎	三郎	幾多	俊夫	精一	康算	治郎	文三郎	理作	太郎	文學博士	文學博士	文學博士

寄贈書籍雜誌

哲學雜誌、丁酉倫理講演集、日本心理學雜誌、教育研究、內外教育評論、學校教育、教育時論、  
藥王樹、三田文學、信濃教育、東亞之光、教育學術會、支那學、東洋思想研究、衛生批判、生理  
學研究、社會學雜誌、講座

## 前 號 目 次

- 山鹿素行に於ける士道論的思想の發達……………文學士 加藤 仁 平
- 武士道の起原及び特質(二)……………文學士 高 橋 俊 乘
- 内部知覺について(承前)……………文學博士 西田 幾 多 郎
- 故マックス・フリッツシャイゼンケラーの教育學界に於ける效績……………文學士 伊 藤 猷 典

會告

一、本會へ入會希望者ハ京都市西洞院七條南内外出版株式會社内京都哲學會宛テニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納付ノ上御申込被下度候

一、會員ニシテ轉居入退會等(編輯事務以外ノ一切)ノ事務ハ内外出版株式會社内京都哲學會へ御通知被下度候

一、會費ハ振替口座大阪〇六六三番、内外出版株式會社内京都哲學會宛テニ御拂込被下度候

一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介、新刊書、寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學  
文學部内 京都哲學會

定規文註

○ 會員にあらざる購讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版株式會社へ御申込下され度候

○ 本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候

○ 振替貯金にて御送金は(振替大阪三三九五番三九三一番東京三九三二番)内外出版株式會社宛に願上候

○ 前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候

○ 下に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

價定

冊	數	定	價	郵	稅
一冊	拾	金	四	拾	錢
六冊	金	貳	圓	四	拾
十二冊	金	四	圓	八	拾

一頁 金參拾圓 半頁ハ取扱不申

廣告料

一頁 金參拾圓 半頁ハ取扱不申

大正十三年九月廿五日印刷納本  
大正十三年十月一日發 行

第百二號 第九卷 第八冊

京都帝國大學文學部内

京都哲學會

右代表者 伊藤 猷典

發行者 大谷 仁兵衛

印刷者 須磨 勘兵衛

印刷所 内外出版株式會社印刷部

發行所

京都市下京區西洞院七條南

内外出版株式會社

振替口座 大阪三三九五番 東京三九三一番

本社 京都市下京區西洞院通七條南  
出張所 京都市京橋區加賀町十番地  
販賣所 京都市神田區錦町一ノ一

(東京) 東京堂 東海堂 北隆館

賣捌所

(大阪) 盛文館 三文社  
(神戸) 寶文館 川瀬書店  
(京都) 共盛社 大盛社

製複許不  
載 轉 禁